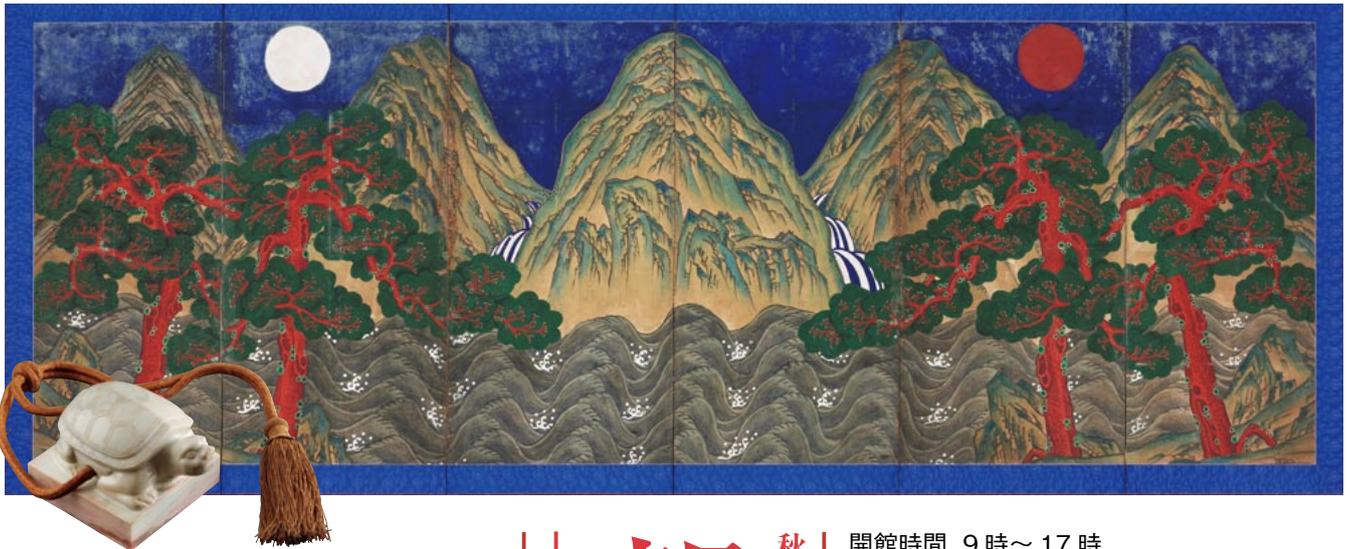


れきはく

No.115

2015.9.11



日月五峰図屏風(上)

19-20世紀初 韓国国立古宮博物館蔵

朝鮮王朝の王の権威を象徴する屏風。王宮正殿の御座(王座)はもちろん、室内・室外を問わず王が臨御する際はその後ろにこの屏風を立てた。

5つの峰の間に日(太陽)と月がのぼり、峰から落ちる滝は奔流となって表現される。左右には岩に生えた松が枝を延ばし、王のもつ徳を自然物にたとえ、王朝の永遠なる繁栄を祈願する図像と考えられている。

英祖玉宝(下)

朝鮮時代 1756年 韓国国立古宮博物館蔵

21代の王・英祖の儀礼用の印章。王の功徳をたたえる号(尊号)が刻まれている。御宝と呼ばれる印章は、本人の死後に神位(位牌)とともに祀られるほど、その権威を象徴する重要な品であった。

記念講演会

日時 9月19日(土) 13時30分～15時

「朝鮮時代の国家と儀礼」

講師 六反田 豊氏

(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

会場 ワークショップルーム

定員 100名(当日先着順)

※ 聴講無料 申込不要

展示解説

日時 ① 9月20日(日)

② 10月11日(日) ※いずれも13時30分～14時30分

講師 当館学芸員

※ 要特別展入場料 申込不要

韓国映画上映会

韓国歴史映画の人気作を上映します

日時 9月22日(火・祝)23日(水・祝)

10月3日(土) 4日(日) 28日(水) 29日(木) 30日(金)

※ 詳細はHP等でご確認ください

※ 入場無料 申込不要

朝鮮王朝

― 宴と儀礼の世界 ―

秋季特別展

リニューアルオープン記念
大韓民国国立全州博物館姉妹館交流25周年記念

開館時間 9時～17時

(展示室への入場は16時30分まで)

入場料

一般 700 (560) 円

大学生 560 (450) 円

※ () は 20名以上の団体料金

常設展とのセット料金

一般 800 円 大学生 640 円

主催

石川県立歴史博物館

大韓民国国立全州博物館

特別協力

大韓民国国立中央博物館

大韓民国国立古宮博物館

協力

韓国観光公社・東京成徳大学

後援

駐日韓国大使館 韓国文化院・駐新潟

大韓民国総領事館・在日本大韓国民

民団石川県地方本部・石川県日韓親

善協会・北國新聞社・MBC金沢放送局・

北陸放送・石川テレビ放送・テレビ

金沢・北陸朝日放送・金沢ケーブル

テレビネット・エフエム石川・ラジ

オかなざわ・ラジオこまつ・ラジオ

ななお

韓国文化を体感しよう

「衣装体験—あなたも朝鮮王朝の貴族に!—」

日時 会期中の土・日・祝日

10時～12時、13時～16時

会場 ギャラリー

※ 希望者多数の場合は整理券を配布します

韓国こども文化トーク

「コリアンキッズのある一日」

日時 10月18日(日) 13時30分～14時30分

講師 姜敏貞氏(石川県国際交流員)

会場 歴史体験ひろば

※ 参加無料 申込不要

会期

平成27年

9月13日(日)

～11月8日(日)

会期中無休

秋季特別展

リニユーアルオープン記念
大韓民国国立全州博物館姉妹館交流25周年記念

朝鮮王朝

― 宴と儀礼の世界 ―

平成三（一九九一）年に、当館と韓国国立全州博物館が姉妹館協約を締結してからは、はや四半世紀を迎えようとしています。これまで五年に一度、相互に交流展をして参りましたが、今回は当館のリニユーアルオープンを記念し、「朝鮮王朝」に焦点を当てた特別展を開催します。

五〇〇年以上も続いた朝鮮王朝は、儒教をもつて国を治める基本理念とし、王室では儒教に沿った国家儀礼や祭祀を通して、王の権威と正統性を示しました。婚礼や官位授与などの祝賀儀礼、先祖をまつる宗廟祭祀など、その種類は多岐にわたり、また慶事には盛大な祝宴が催されました。これらは民間の祭祀や人生儀礼にも影響を与え、現在の韓国文化とも深く関わっています。

本展覧会は、全州博物館の他、韓国国立の博物館から朝鮮時代の宴と儀礼に関する約一〇〇〇点の文化財が出品されます。その大部分が日本初公開、全国でこれまでに類のないテーマによる特別展です。

この貴重な機会に、朝鮮王朝の真髄にふれ、隣国への理解を深めていただければ幸いです。

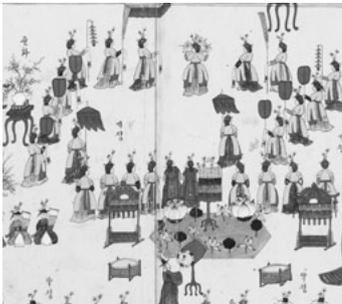
みどころ

① 荘厳な儀礼の世界

朝鮮王朝の国家儀礼は、慶事に関わる「嘉礼」や葬祭に関わる「凶礼」など五つに分類され、いずれも儒教に基づいた儀式手順で厳粛に行われました。それは王の権力を示すとともに、王朝の存続を祈願する意味がありました。まずは、世継ぎの冊封や、新生児の胞衣を納める安胎儀式など、荘厳な王室儀礼の世界をご紹介します。

② 麗しき宴の世界

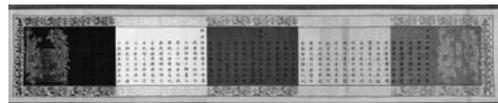
朝鮮時代の宮廷では、多様な宴が催されましたが、儀軌という記録や絵画、また美しく装飾された調度品から、その様子をうかがうことができます。今回、ドラマ「イ・サン」で知られる二十二代王・正祖の、華城への行幸と盛大な行幸を描いた一連の資料が公開されます。めくるめく宮廷宴会の様子をお楽しみください。



國幸整理儀軌圖 朝鮮時代(19世紀) 韓国国立中央博物館蔵



朱漆虎足盤 朝鮮時代後期 韓国国立中央博物館蔵



王世子冊封教命 朝鮮時代(1875年) 韓国国立中央博物館蔵

ここでは、朝鮮時代の特権階級の人々が生涯で経験する儀礼や、官職に関わる行事について紹介します。刺繍で飾られた婚礼衣装や装飾品の他、朝鮮時代後期を代表する絵師・金弘道が両班の記念日を描いた「平生図」にもご注目ください。



貴族女性の婚礼衣装 朝鮮時代後期 韓国国立中央博物館蔵



平生図 朝鮮時代後期 韓国国立中央博物館蔵

④ 朝鮮王朝を体感

展示の他にも、朝鮮王朝の宮廷風衣装を着て記念写真撮ることが出来る「衣装体験―あなたも朝鮮王朝の貴族に―」（土・日・祝開催）や、韓国伝統の韓紙を使ったワークショップ「手作りしよう 韓紙で飾る小箱」（事前申込制）を予定しています。また、「歴史体験ひろば」もこの期間は韓国パージョンに、韓国伝統楽器にふれたり、伝統の遊びを楽しむことができます。日本と似ているけれどやっぱり違う、韓国文化に親しんでみませんか。



③ 貴族たちの華麗なる一生

王宮から目を転じて見ると、両班と呼ばれる官僚たちの生活も、様々な儀礼と祝祭に彩られていました。

☆ワークショップ *参加無料・申込要

「手作りしよう 韓紙で飾る小箱」

10月25日(日) 13時30分～15時

定員 20名

申込方法 電話受付のみ(先着順)

☎076-262-3417 (普及課)

受付開始 9月25日(金) 9時



ワークショップ

日本最古のお金「富本銭」をつくろう！

八月六日(水)に、ワークショップ「日本最古のお金「富本銭」をつくろう！」を開催しました。実際に鋳型に合金を流し入れ、出来た富本銭を磨くことで古代のお金に興味を持っていただくという企画です。

当日は参加した子どもたちだけでなく、保護者の方も一緒になって楽しんでくださいました。子どもたちには合金が溶けるところが特に面白かったようで、どの子も食い入るように見つめていました。保護者の方には合金を鋳型に流し込む作業をしていただきましたが、熱々の合金が流れていく様を皆さん真剣に見守っていました。合金が固まるのを待っている間は、古代のお金について簡単なレクチャーをして、昔のお金はどのように使われていたのか、今のお金と何が違うのかを考えていただきました。最後は富本銭のバリを紙やすりで削る作業です。夢中になって削りすぎてしまう子もいたようですが、出来上がった富本銭をお土産に、皆さん笑顔で帰って行かれました。



上手にできました！



鋳型に金属を流し込んでいます



金属を溶かしています

Information

行事予定

☆れきはくゼミナール

*申込不要

当館学芸員が石川の歴史や文化に関する話題について、毎回テーマを変えてお話しします。

10月17日(土)	「朝鮮王朝時代の服飾文化」学芸主任 大井 理恵
11月21日(土)	「木簡が語る古代の加賀・能登」学芸主任 三浦 俊明
12月19日(土)	「堅田館の復元について―鎌倉時代の加賀有力武士の館―」学芸主任 塩崎 久代
1月16日(土)	「北陸線と新幹線―鉄道展をふりかえる―」学芸主任 石田 健
◇時間	13時30分～15時
◇会場	ワークショップルーム
◇受講料	無料

☆学芸員によるワンポイント解説

*申込不要

当館学芸員が博物館の見どころをわかりやすく解説します。

9月25日(金)	「城下町金沢の暮らしと町並み」学芸主任 塩崎 久代
10月23日(金)	「赤レンガ建物敷地内巡り」普及課長 前田 武輝
11月27日(金)	「祭りと神饌」学芸主任 大井 理恵
12月25日(金)	「城下の祭礼」学芸課長 大門 哲
1月22日(金)	「日露戦争と石川県」学芸主任 石田 健
◇時間	13時30分～14時
◇会場	展示室など
◇受講料	要観覧料 ※10月23日の回は無料

☆古文書講座

(前期・後期各3回、定員40名)

当館学芸員が古文書の読み方や内容をわかりやすく解説します。

9月24日(木)、11月26日(木)	古文書講座(前期)
1月28日(木)、2月25日(木)	古文書講座(後期)
3月24日(木)	*後期分の受講生はホームページ等で別途募集します。
◇時間	13時30分～15時
◇会場	ワークショップルーム

お知らせ

兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク	10月18日(日)～11月3日(火・祝)
10月18日(日)	「いしかわ文化の日」常設展無料観覧日
11月2日(月)	常設展無料観覧日

*詳しくは「兼六園周辺文化の森」のホームページをご覧ください

●Topics



いつもの夜の博物館



デジタル掛け軸の様子 (8月7日撮影)

兼六園周辺文化の森サマーミュージアムウィーク(七月三十一日～八月九日)のイベントの一つとして、八月七日(金)・八日(土)の二日間、夜間延長開館(十七時～二十一時、常設展のみ)とともに「夕暮れコンサート in 本多の森」、「onn 本多の森 D.K.I. デジタル掛け軸」を行いました。日没後、高さ約八m、幅約九mの赤レンガ建物三棟の壁面に画像が投影されると、博物館のある本多の森公園が幻想的な空間に包まれ、歓声があがりました。一〇〇万種類の映像が三〇秒ごとにゆったりと移り変わり、二度と同じ映像を見る事ができない「二期一会」の光の演出。二日間で約二二〇〇人の方にご来場いただき、新しくなった博物館の展示もたくさんの方に見ていただきました。重厚な雰囲気のあるレンガ建物が、まさかこんな姿になるとは……! なんだかとても新鮮でした。

「いつもとちがう夜の博物館」

展覧会予告

企画展

「堅田館―鎌倉時代の加賀有力武士の館―」

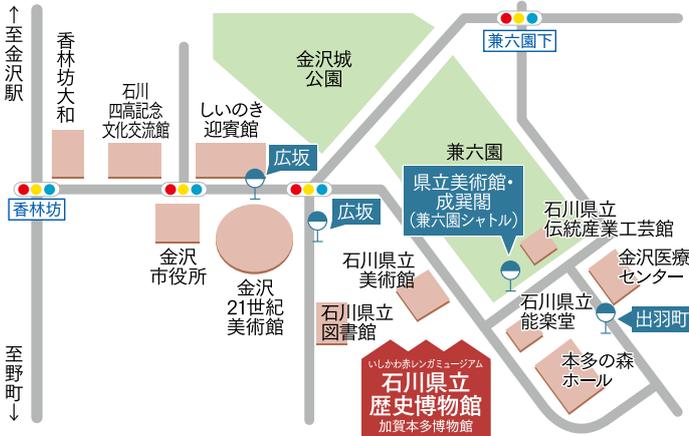
2015年12月12日(土)～2016年1月17日(日)
*12月28日(月)～1月3日(日)は休館

リニューアルした常設展示室の中世コーナーに、加賀の有力武士の館の復元模型が新たに設けられました。現在の金沢市森本インナーエンジン付近にあった堅田館跡(金沢市堅田町)の発掘成果や絵巻、文献などを調査し、検討を重ねて製作されたものです。

今回の展覧会では、堅田館跡から出土した陶磁器や武器、呪いの札、建築部材など、約八〇〇年前の武士の暮らしに関する資料を展示します。また、復元の根拠となった資料や模型の製作過程などもわかりやすく紹介します。ぜひご覧ください!



堅田館模型 (縮尺: 1/50)
監修: 小野正敏、富島義幸、向井裕知
建築復元図面製作: 竹川浩平



いしかわ赤レンガミュージアム
石川県立歴史博物館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1
TEL: 076-262-3236 FAX: 076-262-1836
E-mail: rekihaku@pref.ishikawa.lg.jp
http://ishikawa-rekihaku.jp/

片山津温泉 加賀観光ホテル

22 種のお風呂

最大級の湯量と

片山津温泉

旬の日本海の海の幸や 加賀野菜もお楽しみ下さい

加賀観光ホテル予約センター 受付時間 9時～20時

Tel. 0761-74-1101

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉ウ41 http://www.kagakankoh-hotel.co.jp/